# (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

# (11)特許出願公開番号

# 特開平9-112135

(43)公開日 平成9年(1997)4月28日

(51) Int.CL*		識別記号	庁内整理番号	ΡI			技術表示箇所
E06B	1/56			E06B	1/56	В	
F16B	12/14			F16B	12/14		
	25/00				25/00	Α	

完全的 Q C 0元00元6 产 文值查

(21)出頭番号

特額平7-299002

(22)出旗日

平成7年(1995)10月23日

(71)出廣人 591197747

中本 祐昌

広島県廿日市市阿品4-19-18

(72)発明者 中本 祐昌

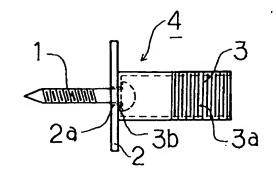
広島県廿日市市阿品4-19-18

(74)代理人 弁理士 三原 靖雄

### (54) 【発明の名称】 関口戸の調節・固定金具

#### (57)【要約】

【目的】 開口枠の固定の際に、隙間調整材の必要を無くし、固定後に六角レンチで柱と開口枠の間隔を調整でき、座金で安定した固定ができ、作業時間を従来技術の3分の1にできる開口枠の調節・固定金具を提供する。 【構成】 固定用ねじ部材1と座金2と調整筒3からなる開口枠の調節・固定金具4である。座金2は、中心に固定用ねじ部材1が挿通する穴2aを有する平らな円板である。また、調整筒3は、座金2と一体になり座金2から垂直に突出しており、座金2に対し空回り可能である。調整筒3には外面に雄ねじ3aを設け、座金2頃の端部は閉塞され、中心に固定用ねじ部材1が挿通する穴3bを形成し、他端に六角レンチを嵌めるための六角穴を設けている。固定用ねじ部材1は、調整筒3の内部へを設けている。固定用ねじ部材1は、調整筒3の内部へ挿入し、穴3bと穴2aに挿通して、座金2を介して柱に締め付け固定するものである。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 固定用ねじ部材と;中心に固定用ねじ部 材が挿通する穴を有する平らな座金と;該座金と一体に なった該座金より小径の筒状体であって、外面に雄ねじ を設け、該筒状体の一端は閉塞され、中心に上記固定用 ねじ部材が挿通する穴を有し、他端に六角穴を形成した 調整筒よりなり、開口枠に調整筒を螺着し、つぎに、調 整筒の先端に座金を介して固定用ねじ部材を、調整筒内 より柱に締め付け固定することを特徴とする開口枠の調 節·固定金具。

【請求項2】 開口枠に、調整筒を螺着する内面に雌ね じを切った調整筒受金具が予めにし込まれている請求項 1記載の帰口枠の部節・固定金具。

【請求項3】 座金の固定面側に緩衝性を有する材料が 貼着されている請求項1または請求項2記載の開口枠の 調節·固定金具。

【請求項4】 調整筒の座金側外径部に調整筒を回転さ せるための切り込みが施されている請求項1または請求 項2または請求項3記載の開口枠の調節・固定金具。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】この発明は、開口枠、パネル等の 建築材料を固定する開口枠の調節・固定金具に関するも のである。

#### [0002]

【従来の技術】従来、開口枠を柱に固定する場合、図7 に示す如く、開口枠(45)を両側の柱(46)の間に 置き、柱(46)と銅り棒(45)の間に複数の隙間調 整材(49)を挟み込み、開口枠(45)が真っ直ぐに 隙間調整材(49)を通して木ねじ(43)を打ち込ん で固定する方法が一般的であった。

# [0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従 来の固定方法においては、隙間調整材を適切な厚みに揃 えるのに大変手間がかかる欠点があった。すなわち、一 旦、隙間調整材を仮付けし、目測や、さげ振り、レーザ 一光を使った測定等で開口枠の垂直度を確認し、隙間調 整材を適切な厚みに調整して固定する作業を繰り返し行 うので、この調整の手間にかかる作業時間は、開口枠を 40 セットする全体の時間の7~8割を要していた。

【0004】この発明は、上記事情に鑑みてなされたも のであり、開口枠の固定の際に、隙間調整材の必要を無 くし、固定後に六角レンチで柱と開口枠の間隔を調整で き、座金で安定した固定ができ、作業時間を従来技術の 3分の1にでき、リフォームが容易にできる開口枠の調 節・固定金具を提供することを目的とする。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】この発明の開口枠の調節 ・固定金具は、固定用ねじ部材と;中心に固定用ねじ部 50 ものであり、座金(2)から垂直に突出しており、座金

材が挿通する穴を有する平らな座金と: 該座金と一体に なった該座金より小径の筒状体であって、外面に雄ねじ を設け、該筒状体の一端は閉塞され、中心に上記固定用 ねじ部材が挿通する穴を有し、他端に六角穴を形成した 調整筒よりなり、開口枠に調整筒を螺着し、つぎに、調 整筒の先端に座金を介して固定用ねじ部材を、調整筒内 より柱に締め付け固定する開口枠の調節・固定金具であ

【0006】また、上記開口枠の調節・固定金具におい 10 て、開口枠に、調整筒を螺着する内面に触ねじを切った 調整筒受金具が予め埋め込まれている開口枠の調節・固 定金具である。

【0007】また、上記第四部の調節で固定金具におい て、座金の固定面側に緩衝性を有する材料が貼着されて いる開口枠の調節・固定金具である。

【0008】また、上記開口枠の調節・固定金具におい て、調整筒の座金側外径部に調整筒を回転させるための 切り込みが施されている開口枠の調節・固定金具であ る。

#### 20 [0009]

【作用】上記構成の開口枠の調節・固定金具において は、調整筒の雄ねじを開口枠に設けた雌ねじに螺着し、 次に、調整筒の先端に座金を介して固定用ねじ部材をド ライバーで調整筒内より柱に締め付け固定することによ って、開口枠を柱に固定する。この時、座金により調整 筒がしっかりと支えられ傾きを防止し開口枠の垂直度が 保たれる。原語の温定面側に緩衝性を有する材料が貼着 されている場合、わずかな傾斜やわずり位配らの思い。 その緩衝性を有する材料により吸収解消される。さら 立っているのを確認した上で、開口枠(45)の上から 30 に、六角レンチを調整筒の六角穴に差し込み、調整筒を 回転させることにより、開口枠と柱との間隔を調整し て、開口枠を真っ直ぐに建てることができる。このと き、座金が大きすぎたり、緩衝性を有する材料が軟質で あると、回転時の抵抗が大きくなるため、柱へ固定する 場合、座金に対して調整筒が空回り可能な状態で一体に なっている。ただ、座金の径が小さい場合、緩衝性を有 する材料が硬い場合は、座金と調整筒は完全に一体に固 定されていても何ら支障はない。開口枠に、調整筒を螺 着する内面に触ねじを切った調整筒受金具が予め埋め込

#### [0010]

【実施例】この発明の実施例を、図面を参照して説明す る。図1は、この発明の最初の実施例を示す正面図であ り、図2は同じく右側面図である。固定用ねじ部材 (1)と座金(2)と調整筒(3)からなる開口枠の調 節・固定金具(4)である。

まれている場合、調節はよりスムーズになる。

【0011】座金(2)は、中心に固定用ねじ部材 (1)が挿通する穴(2a)を有する平らな円板であ る。また、調整筒(3)は、座金(2)と一体になった

(2) に対し空回り可能である。調整筒(3)は、その 直径が座金(2)の直径より小さく、外面に雄ねじ(3 a)を設け、座金(2)側の端部は閉塞され、中心に固 定用ねじ部材(1)が挿通する穴(3b)を形成し、他 端に六角レンチを嵌めるための六角穴(3c)を設けて いる。 穴(3b)と穴(2a)は連通している。

【0012】固定用ねじ部材(1)は、無垢の木材等に ねじ込むことのできるねじであり、調整筒(3)の内部 へ挿入し、図1に示す如く、穴(3b)と穴(2a)に 挿通して、座金(2)を介して柱に締め付け固定するも 10 る材料により吸収解消することができる。 のである。

【0013】上記実は級の開口枠の調節:固定会具

- (4)の使用方法を以下に説明する。図3は、開口枠
- (5)を柱(6)に固定するよう配置した状態を示す正 面図であり、図4は、図3のA-A線拡大断面図であ

【0014】まず、戸当たり(7)を開口枠(5)から 外した状態で、調節・固定金具(4)の調整筒(3)を 開口枠(5)に設けられた雌ねじ(5a)に螺着する。 雌ねじ (5a) は閉口枠 (5) を貫通している。雌ねじ 20 (5a)は、開口枠に直接彫り込んだねじでも良く、内 面に雌ねじを切った調整筒受金具〔図示せず〕を開口枠 に埋め込んでも良い。

【0015】次に、固定用ねじ部材(1)を調整筒 (3) の六角穴(3c) から挿入し、座金(2) を介し て、柱(6)にドライバーを使って締め付ける。締め付 けて固定した状態を示すのが認う。「図4である。この 時、座金(2)がぴった竹っぱ(6)に密着し、調整的電影 (3)を柱(6)に対し垂直に安定して支えるので、開 口枠(5)が安定して真っ直ぐに保たれる。

【0016】さらに、図5に示す六角レンチ(8)を開 口枠(5)の内側から六角穴(3c)へ挿入し、調整筒 (3)を座金(2)から回転させ、雄ねじ(3a)と雌 ねじ (5a) の関係により開口枠 (5) と柱 (6) との 間隔を調節して正確に、開口枠(5)が垂直に立つよう セットする。調整筒受金具を開口枠に埋め込んでいる場 合、雄ねじ (3a) と雌ねじ (5a) の間の調整はより スムーズになり、開口枠(5)と柱(6)の間隔の調節 はスムーズにできる。

【0017】最後に、図4に示す如く、戸当たり(7) を内側から開口枠(5)に嵌めて固定し、開口枠(5) のセットを終了する。

【0018】本発明の別の実施例を示す正面図が図6で ある。固定用ねじ部材(11)と座金(12)と調整筒 (13)の組み合わせからなる開口枠の調節・固定金具 (14)であり、最初の実施例と異なる点は、固定用ね じ部材 (11) のねじ部 (11a) の付け根が括れて細 くなっており、それに合わせて、座金(12)の中心の 穴(12a)や調整筒(13)の穴(13b)もねじ部 (11a)の太い部分や頭部(11b)よりも小さくな 50 13b 穴

っているので、固定用ねじ部材(11)は調整筒(1 3)と座金(12)から分離できなくなっている点であ る。つまり、常に固定用ねじ部材(11)と調整筒(1 3)と座金(12)は組み合わさっている。

【0019】上記2つの実施例の他に、座金の形状が角 形や楕円形のもの等があっても良い。すなわち、座金の 形状は限定されるものではない。また、座金の柱材等へ の接地面には、緩衝性のある材料を貼着して良い。この 場合、わずかな傾斜やわずかな凹凸の影響を緩衝性のあ

## [0020]

【長毛を効果】この発明によると、関口枠を固定するの に、隙間調整材を使用せずに済み、調整筒を六角レンチ で回転させられるので柱と開口枠の間隔を調整でき、座 金で安定した固定ができ、傾きを防止できる。従って、 開口枠を速やかに垂直に立てることができるため、セッ トの作業時間を従来の3分の1にできる。また、再調整 やリフォームが容易にできる等極めて有益なる効果を奏 する.

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す正面図である。

【図2】同じく、右側面図である。

【図3】この発明の一実施例を使用して開口枠を固定し た状態を示す一部欠截正面図である。

【図4】図3のA-A線拡大断面図である。

【図5】六角レンチを示す斜視図である。

【図6】この発明の別の実施例を示す正面図でなる。 『国際学院系の関ロ枠の固定方法による固定的記念示す 一部欠截正面図である。

# 【符号の説明】

- 1 固定用ねじ部材
- . 2 座金
  - 2a 穴
  - 3 調整筒
  - 3a 雄ねじ
  - 3b 穴
  - 3 c 六角穴
  - 4 開口枠の調節・固定金具
  - 5 開口枠
- 40 5a 雌ねじ
  - 6 柱
  - 7 戸当たり
  - 8 六角レンチ
  - 11 固定用ねじ部材
  - 11a ねじ部
  - 11b 頭部
  - 12 座金
  - 12a 穴
  - 13 調整筒

14 開口枠の調節・固定金具

43 木ねじ

45 開口枠

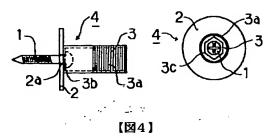
46 柱

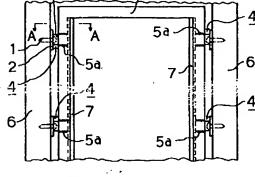
49 隙間調整材

【図1】

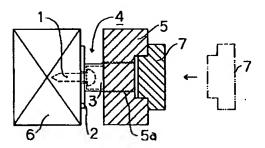
【図2】

【図3】

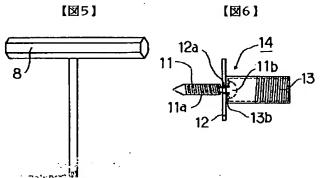


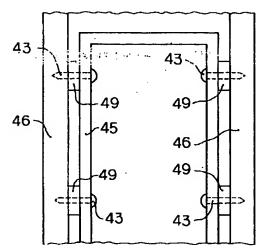


【図5】



【図7】





**DERWENT-ACC-NO:** 

1997-296042

**DERWENT-WEEK:** 

200003

## **COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD**

TITLE:

Metal fixture for <u>adjusting</u> fixing opening frames and <u>panels</u> - has adjustment cylinder with external <u>thread</u>, central hole at one end for passing fixation <u>threaded</u> part and hexagonal socket at other end for fitting wrench

PATENT-ASSIGNEE: NAKAMOTO S[NAKAI]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0299002 (October 23, 1995)

**PATENT-FAMILY:** 

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE PAGES MAIN-

IPC

JP 09112135 A April 28, 1997 N/A 004 E06B 001/56

JP 2986721 B2 December 6, 1999 N/A 004 E06B

001/56

# **APPLICATION-DATA:**

 PUB-NO
 APPL-DESCRIPTOR
 APPL-NO
 APPL-DATE

 JP 09112135A
 N/A
 1995JP-0299002
 October 23, 1995

 JP 2986721B2
 N/A
 1995JP-0299002
 October 23, 1995

JP 2986721B2 Previous Publ. JP 9112135 N/A

INT-CL (IPC): E06B001/56, F16B012/14, F16B025/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09112135A

### **BASIC-ABSTRACT:**

The metal fixture consists of a <u>threaded</u> part (1) for fixation. A flat disc-shaped washer (2) has a hole (2a) at the center through which the <u>threaded</u>

part pierces through. An adjustment cylinder (3) protrudes orthogonally

beyond

the washer into which the cylinder is capable of running idle. External thread

(3a) is provided in the adjustment cylinders.

A hole (36) is formed at the center of the adjustment center at washer end through which the <u>threaded</u> part passes. An hexagonal socket (3c) is provided

at the other edge for fitting a wrench. The adjustment cylinder is screwed into an opening frame with the washer installed at the end. The <a href="threaded">threaded</a> part

is tightened in the pillar.

ADVANTAGE - Avoids necessity of gap adjustment material while fixing opening

frame since interval between pillar and frame is capable of being adjusted. Stabilizes fitment. Reduces fixation time.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

TITLE-TERMS: METAL FIX ADJUST FIX OPEN FRAME <u>PANEL</u> ADJUST CYLINDER EXTERNAL

THREAD CENTRAL HOLE ONE END PASS FIX THREAD PART HEXAGON SOCKET END
FIT WRENCH

**DERWENT-CLASS: Q48 Q61** 

**SECONDARY-ACC-NO:** 

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-244688